

第四十一回 帝國議會  
衆議院

精神病院法案(「トラホーム」豫防法案)委員會議錄(速記)第七回

大正八年三月五日午前十時三十九分開議

出席委員左ノ如シ

金杉英五郎君

丸山嵯峨一郎君

伊東重君

井鳥義雄君

齋藤紀一君

土屋清三郎君

上村耕作君

行徳健男君

片木政治郎君

唐端清太郎君

佃安之丞君

清水市太郎君

小山松壽君

内務省衛生局長

杉山四五郎君

文部省普通學務局長

赤司鷹一郎君

陸軍省醫務局課員

陸軍二等軍醫正合田平君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

結核豫防法案

「トラホーム」豫防法案

○委員長(医学博士金杉英五郎君) 開會致シマス、昨日本日午後カラ委員會ヲ開クヤウニ申上ゲテ置キマシタガ、今日ハ本會議がアルコトニナリマシタノデ、俄ニ御迷惑ヲ願ヒマシタ次第アリマス、御承知ノ通り昨日マテ、結核豫防法案ノ質問ヲ終了シタ譯アリマス、是ヨリ結核豫防法案ニ對スル討議ニ移リマス

○佃安之丞君 結核豫防法案ノ意見ト致シマシテハ、昨日本員ハ一寸申述ベマシタガ、尙ホ此場合原案ヲ通過スルコトニシテ、殊ニ讀會ヲ省略シテ可決ヲ致シタイト云フ考デアリマス、此動議ヲ提出致シマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(医学博士金杉英五郎君) ソレデハ御異議ナキモノト認メマシテ、可決確定致シタル事ヲ宣告致シマス——續テ「トラホーム」豫防法案ニ移リマス、政府委員ノ説明ヲ求メマス

○政府委員(杉山四五郎君) 此「トラホーム」豫防法案ハ昨年第四十議會ニ於キマシテ、此席ニ御在ノ行徳君ガ、十四名ノ斯業ニ關係ヲ有シテ居ラレル議員諸君ノ方ミト共ニ提出者トナリマシテ、多數ノ御賛成ノ下ニ此法案制定ニ關スル建議案ヲ御提出ニナリマシテ、其兵力ヲ擴充シ、教育ヲ振興シ、產業ヲ發展セシメ、對外的活動ト云フモノヲ助長スベキ必要トシテ、政府ニ此法案提出ノ事ヲ御提議ニ相成リマシテ、委員會モ本會議モ満場一致ヲ以テ通

過シテ居ル次第アリマス、隨ヒマシテ爾來政府ハ輿論ノ趨向ニ鑑ミ、此法案ノ調査ヲ急キマシテ、爰ニ此法案ヲ提出スルニ至リマシタ次第アリマス、故ニ最早政府委員ト致シマシテ「トラホーム」豫防法案ノ何ガ故ニ必要アルカ

ト云フコトノ理由ヲ申上ゲルノハ、蛇足デアリマスカラ、ソレハ別ニ申上ダマヌ、結局其建議案ト云フモノニ準據シテ、茲ニ提出スルニ至リマシタト云フ事ダケヲ申上ゲテ置キマス、而シテ此法案ノ大體ヲ御説明申上ダマスルト、第一條ニ於キマシテハ、醫師ガ「トラホーム」患者ヲ診断シマスルトキハ、患者又ハ其保護者ニ消毒其他ノ豫防方法ヲ指示スベキコトヲ命ジマシテ、其内容等ニ付キマシテハ之ヲ命令ニ委任シテ居リマス、尙ホ結核豫防法案ト違ヒマス所ハ、醫師ノ外ニ當該官吏又ハ吏員ガ必要ト認メタルトキハ、同様

ニ消毒其他豫防方法ヲ指示スベキ義務ヲ負ヘマシタ、尙ホ第三項ニ參リマシテ、其指示ヲ受ケタ者ハ、其指示ニ從ヒマシテ消毒其他ノ豫防方法ヲ行フベキ事ヲ規定シテ居リマス、次ニ第二條ニ至リマシテ「トラホーム」患者ハ速ニ醫師ノ治療ヲ受クヘキ事ヲ規定シ、尙ホ患者が未成年者若クハ其他保護者ニ附シテアリマス所ノ者ハ、其保護者が患者ヲシテ醫師ノ治療ヲ受ケシムルト云フ規定ニナシテ居リマス、第三條ニ至リマシテ、行政官廳ノ強制治療權ナルモノヲ規定シテアリマス、御案内ノ如ク現狀ニ於キマシテハ、各

地方長官ガ各、地方令ヲ以テ「トラホーム」豫防者ニ關スル事ヲ規定シテ居リマスガ、如何ニセん人身ヲ拘束スル事ヲ云フ檢診治療ハ出來マヌ、是が此法案ノ骨子ニアリマシテ、即チ法律ノ基礎ヲ與ヘマシテ、地方長官が檢診が出來ルト云フ規定ニ致シマシタ、第四條ニ至リマシテ「行政官廳ハ「トラホーム」豫防上必要ト認ムルトキハ左ノ事項ヲ行フコトヲ得」トアリマシテ、檢診ヲ施行スルコトノ權限ヲ付与シ、尙ホ其費用負擔ヲ明記シ第五條ニ至テ市町村ハ、

○政府委員(杉山四五郎君) 先づ市町村ノ事デゴザイマヌノデ、「施設ヲナスヘシ」トゴザイマスト、如何ニモ他ノ精神病院若クハ結核療養所ノ如キモノニモ取ラレマスカ、此「トラホーム」豫防及ビ治療ニ關スル施設ト申シマスノハ言ハミ、檢診所治療所ノ設備ヲスルトカ、治療器械ノ設備ヲスルトカ云フコトヲ豫防及治療ニ關スル施設ト申シマスガ、其町村ノ狀況ニ依テハ、或ハ寺ナドニ便宜人ヲ集メテ治療ヲスル、器械モ備ヘルトカ云フヤウニナル事ト豫想シテ居リマス、市デアリマスレバ役場ノ脇ニデモ檢診所ヲ設ケルヤウナコトニナリマス

○唐端清太郎君 「トラホーム」患者ハ一町村デ少クトモ千人多イ所ハ三千人以上ヲ抱イテ居リマス、此法律ニ依リマスト是ガ治療ヲ受ケルコトニナリマスガ、此多數ノ患者リマスト是ガ治療ヲ受ケルコトニナリマスガ、此多數ノ患者

レテハ居ナシ、又一二三千人モアル患者ガ、醫師ノ治療ヲ受ケヤウトシアモ、元來醫師ガナイ、且ツ是ガ患者ノ費用デヤレト云フヤウナ事ナラバ、恐ラク治療ヲ受ケル者ハ百人中一二入位ニシカ過ギヌト思ヒマス、然ルニ政府ガ之ヲ以テ足レリト云フ御考ハ、何處カラ出マシタカ、ソレヲ承リタイ

○政府委員(杉山四五郎君) 只今ノ御尋ハ御尤ト存ジテアリマスガ、併シ其費用負擔ニ關シマシテ、市町村ガ本位デアリマスガ、命令ノ定ムル處ニ從シテ、一定ノ歩合ヲ補給スルコトヲ極メマシテ、尙ホ第七條ニ至テ、市町村ノ其費用ニ對シ道府縣ノ補助ノ外ニ、道府縣ノ補助シタル所ノ其支出ニ對シ貧民病デアリマシテ、救療ノ途ノナイ者ガ多クハ此病氣ニ罹リマス、サウ云フ者ノ檢診ヲスルト云フコトヲ規定シテアリマスガ、實ハ檢診治療ヲ要スルノデアリマス、テ第三條ノ二行キマシテ、官廳、官立學校、製造所ノ豫防方法ヲ書キ者ニ對シ治療ヲ施行スルコトヲ得」トアリマシテ第二條ノ

據シテ、適當ノ豫防施設ヲ講ズルコトニナリマシタ、第九條ニ行キマシテ、制裁ノ事ヲ明記致シマシタ、第十條ニ至テ行政官廳ノ命令又ハ所罰規定ヲ設ケマシタ、尙ホ本法ニ

於ケル保護者トハドウ云フ者ヲ指スカラ、十一條ニ定メマシタ、第十二條ニ參テ「本法中市町村トアルハ市制町村ノ區トカ島嶼トカニハ之ニ準ズベキモノトシテ適用スルコト制ヲ施行セザル地ニ於テハ「トアリマス、例ヘバ是ハ北海道ヲ明定致シマシタ、何卒御審議ノ上ニ宜シク御決議アランコトヲ希望致シマス」

○唐端清太郎君 政府委員ニ伺ヒ「トラホーム」ノ豫防及治療ニ關スル施設ヲ爲スヘシトアリマスガ、是ハドウ云フ事ニナリマスカ

○政府委員(杉山四五郎君) 先づ市町村ノ事デゴザイマヌノデ、「施設ヲナスヘシ」トゴザイマスト、如何ニモ他ノ精神病院若クハ結核療養所ノ如キモノニモ取ラレマスカ、此「トラホーム」豫防及ビ治療ニ關スル施設ト申シマスノハ言ハミ、檢診所治療所ノ設備ヲスルトカ、治療器械ノ設備ヲスルトカ云フコトヲ豫防及治療ニ關スル施設ト申シマスガ、其町村ノ狀況ニ依テハ、或ハ寺ナドニ便宜人ヲ集メテ治療ヲスル、器械モ備ヘルトカ云フヤウニナル事ト豫想シテ居リマス、市デアリマスレバ役場ノ脇ニデモ檢診所ヲ設ケルヤウナコトニナリマス

場合ノ費用ハ患者所在地ノ市町村ノ負擔トス」トアリマス  
ソレニ一定ノ歩合ヲ極メマシテ、府縣ガ補助シ而シテソレニ  
又國ガ補助ヲスル、詰リ市町村、道府縣、國庫ノ三ツガ協  
力ヲシテ、吾々同胞ノ中デ此種ノ病氣ニ罹リテ其健康ヲ傷  
害シ、所謂身心ノ活動ヲ阻碍サレシ、アル所ノ者ヲ救治シ  
テヤラウト云フ趣旨カラ出來テ居リマス  
○唐端清太郎君 サウ致シマスト、此府縣制ヲ施行シテ  
居ラヌ所ノ患者デアッタナラバ、總ア公費デ治療ヲシテヤル  
ト云フノデアリマスカ  
○政府委員(杉山四五郎君) 御答致シマス、ソレハ誰デ  
モスルノデハゴザイマセス、第三條ニ明定シテアリマス通り、  
所謂自分デ醫者ニカ、レマセスト云フヤウナ者デアリマス  
○唐端清太郎君 私共一昨年マニ二十四年間村長ヲ勤  
メテ來マシタノデ、親シク此豫防消毒ノ任ニ當ツテヤツ見タ  
實驗カラ申シマスルト、到底之ヲ治療スルコトハ實際ニ於  
テ困難デアリマシテ、此檢診ヲ行フト云フコトモ、毎月一回  
若クハ二箇月ニ一回位ノ檢診ヲヤラナケレバ何ノ效モアリ  
マセヌ、ソレノミナラズ唯今モ申シマシタ通り、一町村ニ二  
千人モ三千人モト云フ多數ノ患者ヲ抱イテ居ルノデアリマ  
スカラ、迹モ此者ニ對シテ各自ニ治療ヲ受ケヨト云フタ所  
ガ、是ハ受ケル者ガアリマセス、政府委員ハ貧民病ト言ハレ  
マシタケレドモ、決シテ貧民バカリノ病氣デアリマセヌ、隨  
分貧民以上ノ人間ニモ多イノデアリマス、私共ノ方ノ學校  
ノ生徒ノ七分ハ此患者デアリマス、而カモソレガ郡内デ第  
三番目デアリマス、斯様ナ實際デアリマスカ、此法ガ行ハレ  
ル時ハ、町村ハ之ニ依テ今日マニ責任ヲ負フテヤリ来ッテ  
居ル所ヲ其儘ニヤテ差支ナイト思フ、然ルニ政府ハ斯ノ如  
キ手綱イ方法ヲ以テ、此多數ノ患者ヲ治療シ減少セシメヤ  
ウト云フ御見込アリマスカ、斯ノ如キハ實際ニ於テ大ナル  
誤デアラウト思フガ、政府委員ノ御所見ハ如何デスカ  
○政府委員(杉山四五郎君) 唐端君ハ今承ル所ニ依ル  
ト、二十有餘年ノ久クシテ名譽職ニ御從事ニナリマシテ親  
シク「トラホーム」ノ治療ニ當ラレタト云フ御實驗上カラノ御  
話ハ洵ニ啟發スル所多キヲ感謝スル次第アリマス、併ナ  
ガラ此法ノ立前ハ提案ノ趣旨ヲ辯明致シマシタ時分ニ申  
上ダマシタ通り、從來ノ儘デハ何ニ依テ人ノ身體ヲ拘束  
シ、其自由意思ニ反シテマデモ、一ミ検診スルコトが出來マ  
セウカ、其檢診ノ出來ナイコトガ「トラホーム」ヲ蔓延セシメ  
タル根本ノ原因デアル、貴方ノ御出遊バス所ノ縣ハ二分ノ  
一ノ補助ヲシテ居ルト云フ寃ニ進ンダル地方デアリマス、又  
貴方ノ多年御管理遊バサレタル所ノ町デアリマスカ村デア  
リマスカ存ジマセヌガ、其自治團體ニ於テハ、其二分ノ一ト  
云フ多額ノ費用ヲ負擔シテマデ、同胞ノ爲メニ此「トラホーム」

ム」ヲ治療スペキ事業ニ盡サレタルコトハ、洵ニ結構ノコト、存ジマス。此「ドラボーム」豫防ノコトタル、實ニ地方費ニ於テ多イ所ハ六千圓モ出シテ居ル所モアルガ、一方ニハ非常ニ少イ所ガアルノデス、又府縣ノ町村ニ對スル支出モ割ニナシテ居ラナイ、貴方様ノ御出遊バス御居村若クハ縣ノ如キハ、實ニ進ミタル考ヲ持テ居ラル、ノハ、寃ニ結構デゴザイマスガ、遺憾ナガランレガ全國同一ニ行シテ居リマセ又故ニ、全國ヲ通ジテ検診及治療ヲ一樣ニナサシメルト云フコトガ第一ノ目的アリマス、而シテ劃一的ニ全國ノ市町村ガ是ニ當ルコトヲ本位トシ、ソレニ對シテ府縣ガ補助ヲシ、デアレバ、固ヨリ結構デス、併ナガラ實際ニ於テハ非常ニ區府縣ニ對シテハ國庫か補助スルト云フコトデ、詰リ國ト道府縣ト、市町村ト、此三面一致シテ之ニ當ラウト云フ趣旨デアリマス、殘ラズ今唐端サンノ仰セノヤウナ縣若クハ町村ニ依ラシメルト云フコトハ御尤デ、ソレニハ異存ガアリマセヌケレドモ、現在ヤンテ居ルノヨリハ之ヲ緩ニスルト云フニ至ッテハ甚ダ其當ヲ得ナイト思フ、現在ヤンテ居ル方法デサヘモ満足ニ豫防消毒ガ行ハレテ居ナイ、然ルニ其手ヲ緩メテ此法ノ如クニヤラセタラバ、恐ラク實際ニ於テ格別ノ效ハナカラウト思フ、唯、全國ヲ統一スル爲メニ此法ヲ設ケルト云フニ至ラヘハ、別ニ惡イコトナイガ、尙ホ一步ヲ進メテ此患者ノ多數ニ在ル所ニ於テハ、其地方ノ市町村ニ責任ヲ負ハセテ治療セシムル方ガ、私ハ得策デアラウト思フ、又今日其通りニヤンテ居ル、是等モ山間僻地ニ至シテハ患者ハ餘アリマセヌ、大都會附近或ハ海岸地方ニ於テハ、非常ニ多イ、是等ニ向テハ今一步進メテ實際ニ效果ノ舉ガルヤウニシタイト思フガ、政府ハ是ダケノ法律デ十分ニ其目的ヲ達シ得ラレルト認メテ居ラレルノデアルカ、其點ヲ伺ヒマス

○政府委員 杉山四五郎君 唯今唐端君ノ仰セノ中ニ、或ル町村ニ是ハ行クノデアルガ、又或ル町村ニハ行カヌト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、是ハドノ町村ニモ行クノデアリマシテ、現ニ三條ノ適用ヲ受クル町村ニハ、其道府縣カラ補助シ、道府縣ニハ國ガ補助スルト云フコトニスルト云フ精神デアリマス、而シテソレデハ緩慢デアルト云フコトハ御意見デアリマスガ、政府ハ本案ヲ此議會ニ向シテ審議ヲ仰ギマス前ニハ、餘程考慮シ致シマシタ、丁度明治四十三

シタ、其場合ニ各地方長官ハ是ハ宜シイ、此法ノ精神ハ宜シイケレドモ、此法ノ實行サレタ曉ニ、其檢診ニ當ルベキ眼科醫ガ果シテ普及シテ居ルカドウカト云フ意見ガ出タノアリマス、唐端君モ先程其點ニ御言及ニナリマシタガ、當時政府ニ於テモ此各地方長官ノ意見ヲ尤モナリト存ジマシテ、ソレカラ大學ノ河本教授ニ嘱託致シマシテ、講習會ヲ開クコト前後九回、又其講習ヲ受ケマシタ醫師ガ、ソレ地方ニ歸ラレマシテ、又其地方デ講習ヲ開イタ處モ多數ニアル、サウ云フ次第ゴザイマシテ、其方ノ事ニ意ヲ用ヒマシタ結果醫師ノ少イ爲メニ検診ノ出來ナイコトハナイト云フ時期ニ達シマシタヨーハ看取致シマシタノデ、茲ニ此法案ヲ提出シタ次第アリマス、テ此規定デハ甚ダ緩慢デアルト云フ御意見アリマシタガ、政府ハ兎ニモ角ニモ此法案ヲ以テ差向キノ問題ト致シマシテ、先ヅ此位ノ所ガ現状ニ於テハ適當ト認メタノアリマス

○行徳健男君 私ハ此法案ニ付キマシテハ、立法ノ點ニ於テ差支ナイ限りハ、大體ニ於テ宜イト思ヒマスか、此法ガ實行セラル、曉ニハ、政府ニ於キマシテハ相當ノ御成案ガアルトハ存ジマスガ、本員等ノ考ヘル所ニ依リマスト、先ヅ第一ノ手段ト致シマシテハ、最モ監督ノ能ク行キ居ク所ニ於キマシテ、此法ヲ十分ニ督勵スルト云フコトガ、實效ヲ舉ゲル上ニ於テ比較的良イモノガ多イノミナラズ、義務教育ヲ受クル學校ニ於テハ、各階級ノ者ガ此門ヲ通過シテ居ル、又病症ノ多少カラ申シマシテモ、茲ニ督勵上カラ見マスレバ、少クトモ二十乃至三十一ペセント」位ナ間ニ生ジテ居ルノデアリマスカラ、兎ニ角是等ノ監督ノ行届ク所ニ於テ施行スルト云フコトニ致シマスレバ、先ヅ文部本省ニ於キマシテハ之ヲ監督若クバ督勵シテ行ク所ノ機關ガ具ハシテ居リマスカドウカ、此點ニ付テ御尋シタイト思ヒマス

○政府委員(赤司鷹一郎君) 御答申上ダマスガ、唯今ノ豫防法案ノトキニ、他ノ問題ヲ附加ヘテ申上ダタカト存ジテ居リマスガ、御承知ノ通り文部省ニゴザイマス所ノ學校衛生課ナルモノハ、大正五年ニ豫算ガ通過致シマシテ、ソレ以來設置ヲ致シテ居リマス、學校衛生官ガ一名、ソレカラ其下ニ屬官ガ二名、囑託ガ一二名辛ウジテ居ル、其豫算ノ總額ハ凡ソ五六千圓ト云フ見當ノゼノアリマス、文

部本省ニ於キマシテハソレダケノ機關シカ實ハ具テ居リマセヌ、併ナカラ此各道府縣ニ於キマシテハ、御承知ノ通り近年學校衛生主事ノ設置ヲ獎勵シテ居リマス、是ハ地方長官會議ノゴザイマス度ニ、文部大臣カラ學校衛生主事ノ設置ヲ獎勵シテ居リマス、ソレカラ學校醫ニ關シテモ、文部大臣ヨリ時々地方長官會議へ對シ、學校醫ヲ適當ニ配置スルヤウニ注意致シテ居リマス、隨ヒマシテ此學校ノ今日ノ現状ニ於キマシテハ、各學校ニ於キマスル「トラホーム」ノ監督ニ付テハ、先づ今日ノ所ハ直接道府縣ノ學校衛生主事が當ツテ居リマス、斯様ナ狀況ニアリマス、是ハ近年出来マシタ問題ニアリマシテ、其結果タルヤ政府當局ニ於テハ良好ト見テ居ル、ソレデ唯今申上ダマシタヤウニ、道府縣ニ學校衛生主事ノ獎勵ヲ致シテ居ルヤウナ譯ニアリマス○行徳健男君、從來學校ニ於キマシテハ「トラホーム」ノ檢診若クバ治療法ニ付テハ元來學科ノ課程ノ多クアリマス上ニ、此方ノ治療ヤ檢診ヲスルト云フコトハ、學校ニ於テ追々厄介視シテ、之ヲ等閑ニシテ居ル傾ノアルノヲ認メマス、是ハ縣若クハ市町村ニ於テ、此監督ニ任ズル者ガ十分ニ監督シナケレバ、實行シ難キ嫌ガ從來アツ、唯今承ノテ見マスト、各府縣ニ於テ學校衛生主事ナル者ノ設置ガ出来テ居リマスガ、是ハ既ニ各府縣平等ニ設置サレテ居リマスカドウカ、ソレヲ承リタイ、又本省ニ於キマシテノ機關ガ、斯カト云フヤウナ、教授衛生トデモ申シマセウカ、サウニ云フ方面ノ研究ヲ一面ニ於テ爲サナケレバナラヌノアリマス、又一面ニ於キマシテハ、御承知ノ通り兒童ノ健全ナル身體ノ發達ヲ期サナケレバナラヌ、病氣ヲ治ス許リデナクシテ、健康體ヲヨリ健康ニシテヤラケレバナラヌ、即チ積極的ニ體育ヲ獎勵シテ行クト云フヤウナ問題ニ付テモ、色ニ點カラシテ著手ヲ致サナケレバナラヌ事柄ヲ認メテ居リマス、ソレニ付キマシテ學校衛生課ガ一名位デ之ヲ行ツテ往クト云フコトハ、隨分至難ノ事ト認メテ居リマス、此點ニ付テハ過日貴族院ノ豫算ノ委員會ニアタカト記憶致シマスガ、ソレト矢張同様ノ御質問が出來マシテ、文部大臣ヨリ其點ニ於テハ將來大ニ考慮スルト云フ御答ガアリマシタ、此點ニ

於キマシテハ吾ミハ實ハ手が足ラヌコトハ非常ニ困テ居リ  
マスヤウナ次第デアリマス、ソレカラ道府縣ノ衛生主事ハ、  
御承知ノ通り未ダ官制等ハ定メテゴザイマセヌ、是ハ道府  
縣ノ吏員トシテ置キコトヲ唯今ノ所デハ獎勵シテ居リマス、  
併シ之ヲ獎勵致シマス上カラ、最早今日ノ時期ニ於テハ相  
當官制等ヲ布イテ、相當優遇ヲスル必要ガアリハシナイカ  
ト云フ點ハ、唯今考慮中デアリマス、ソレカラ道府縣ノ衛生  
主事ヲ置キマシタ狀態ニ付テハ、殆ド大多數ノ府縣ハ、今  
日ハ學校衛生主事が出來テ居リマス、唯、其内ニ二或ハ  
警察醫アタリカラシテ兼任セシテ居ル所モゴザイマス、先づ  
學校衛生主事ト云フヤウナ者ノ出來テ居リマセヌ所ヲ申  
シマスト、設置ノナイノガ十、設置シテ居ル處ガ三十七、斯  
様ナ狀況ニナシテ居リマス  
○行徳健男君 尚ホ御尋致シマスガ、各學校ニ於テハ所  
謂學校醫ナルモノガ設置サレテ居リマスルガ、邊陬ノ土地  
等ニ於テハ尙ホ學校醫ノ設置ノ無イ處モアルヤニ存ジテ居  
リマスガ、是ハドノ位普及サレテ居リマスルカラ同ヒタイ、尙  
ホ此學校醫ニ對スル手當若クハ無形のノ待遇方法等ニ  
付テ御所見デアリマスレバソレヲ伺ヒタイ  
○政府委員(赤司鷹一郎君) 學校醫ノ事ニ就テ御尋デ  
ゴザイマシタガ、唯今爰ニ持シテ居ルノハ小學校ノ學校醫設  
置ノ狀況ノ調ベタモノヲ持シテ居リマス、ソレニ依リマスト學  
校醫ヲ置イテ居リマスル所ノ小學校ガ、一万五千三百九  
十三ト云フ數ニナシテ居リマス、小學校ノ全數ト學校醫ヲ  
配置シテアル學校トノ百分比例ヲ取りマスト、全國ヲ通ジ  
テ約七十三「プロセント」學校醫ヲ設置シテ居ルト云フ結  
果ニナシテ居リマス、小學ニ居ル所ノ學校醫ノ手當ハ一人平均十  
五圓ト云フ狀況ニナシテ居リマシテ、甚ダ菲薄ナ待遇アリ  
マス、サレバト申シデシテ、唯今吾ミノ方デ攻究ヲ致シテ居リ  
マスルノハ、此學校醫トシテ專門ノ方ニ相當ナ優遇ヲシテ  
來テ戴クヤナ場合ノ事ヲ想像致シマスルト、中ニ是ハ市町  
村ノ財政ガ許サヌト云フヤウナ狀況ガアリハシナイカ、即チ  
市町村ノ財政關係ト此問題トハ、動モスルト衝突ヲシハシ  
ナイカト云フ考ヲ持チマシテ、此點ニ付テハ色ニ攻究ヲ致シ  
テ居リマス、尙ホ是ハ未ダ確定ハ致シマスルト、中ニ是ハ市町  
村ノ財政ガ許サヌト云フヤウナ狀況ガアリハシナイカ、即チ  
成案ヲ作りツ、アリマスドウカ左様御諒承ヲ願ヒマス

○行徳 健男君 尚ホ伺ヒマスガ、此「トラホーム」ノ豫防ノミナラズ結核等ノ事、凡テ學校衛生ニ關係事ノ統一ヲ圖ルト云フコトハ、今日最モ大切な事ト思ヒマスルガ、此機運致シマシテ學校衛生講習會ト云フヤウナモノ、設置カ本省ニ於テモ御計畫三ナリ、既ニ御實施ニナツテ居ルヤニ承テ居リマスルガ、是ハ學校醫ノミニ對シテノ講習會デアリマスカ、又ハ其學校ニ關係シテ居ル所ノ教師若クハ視學ト云フヤウナ者ガ、其講習會ニ於テ講習ヲ受ケテ居リマスカ、此點ニ就ア同ヒマス

○政府委員(赤司鷹一郎君) 學校衛生ノ講習會ニ付キマシテハ、數年前ヨリ年々一回之ヲ開イテ居リマス、唯今ノ所ニ於テハ主ニ學校醫ノ諸君ヲ集メマシテ、サウシテ之ニ講習ヲ受ケシメテ居リマス、即チ學校衛生ノ統一、ソレカラ各府縣ガ同一歩調ニ出ルヤウニト云フ 意見ヲ以チマシテ、學校醫ノ講習會ヲ開イテ居ルノデアリマス、ソレカラ次ニ御尋ノ學校ノ教職員ニ對シテハ、是ハ私トシテ甚ダ困難ヲ感シテ居ル所ノ問題デゴザイマス、ト申シマスルノハ、實ハ此一般ノ衛生思想ヲ高メテ行ク問題ト、是ハ餘程牽聯ヲ致シテ居ル問題デアリマシテ、今日ノ實際ノ状況ハ、動モスルト教員ノ中ニハ十分ナル衛生上ノ思想ヲ持テ居ラヌ者モアルヤウニ見受ケマス、此點ニ付テハドウシテモ一般ノ衛生思想ヲ高メテ行カナケレバナラスト云フ考モアリマシテ、最近ニ於テ極ク平易ナル衛生ニ關スル小冊子ヲ印刷シ、参考トシテ全國ノ小學校ノ教職員ニ配付シテ居ルヤウナ譯デアリマス、是ハ確カ昨年一回既ニ配付致シタカト考ヘテ居リマスガ、尙ホ引續イテサウ云フ問題ニ就テ、學校ノ教職員ニ衛生思想ヲ吹込ミタイト云フ方針ヲ唯今執テ居リマス、併シテ小學校ノ教職員ニモ行フ必要ガアル、又サウ致シタカラバ其效果ガ餘程舉シテ來ルダラウトス様ニ考ヘテ居リマス、唯ニ何分ニモ昨年カラ漸ク着手シタヤウナ狀況デアリマス、併ナカラ又一面ニ於テハ御承知ノ通り、文部省デハ各視學ノ講習會ヲヤンテ居リマス、此視學ノ講習會ナドハ近頃ハ僅カナ時間デハゴザイマスケレドモ、矢張學校衛生ノ講義ヲ致シマシテ、先づ學校衛生ノ必要ナル事ナドヲ此視學アタリニハ講習ヲ致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○行徳 健男君 モウ一ツ御尋シタイ、昨今地方ニ於キマシテハ矢張學校衛生ノ統一向上ヲ圖ル爲メニ、郡市若クハ僅廣クハ縣ニ於テ、地方のノ學校衛生會ト云フヤウナモノヲ設ケテ居ルヤウデアル、是ハ學校衛生講習會ト相俟テ最モ必要ナル機關ト考ヘマス、是等ノ會が今日各府縣ニドノ位出來テ居ルカ、又此會ニ付テ何カ當局ノ御所見ガアリマスレバ、ソレヲ伺シテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(赤司鷹一郎君) 學校醫會ニ付テハ、大正六年二月現在ノ調査アリマスカラ、ソレヲ申上ダマスガ、全國ニ於テ學校醫會ヲ設ケタモノガ百四十一アリマス、其中テ居リマス、斯ウ云フモノガ出來テ學校衛生ノ研究ヲ始メルト云フコトハ、文部當局トシテハ歡迎シテ居ルヤウナ次第ニアリマス、是等ノ問題ハ學校衛生主事會ノアリマス際等ニ、學校醫會ノ狀況ヲ私等ノ方カラモ尋不、又色ニノ希望モ出テ、之ニ付テハ獎勵ヲ致シテ居リマス

○行徳健男君 次ニ内務省ノ當局ニ御尋シテスガ、既ニ昨年ノ建議案ノ委員會ニ於キマシテ御尋シテ置キマシタガ、此法が愈々實施サレルコトニナレバ、之ヲ診定スル大體ノ方針ガ定マリマセスト、餘程困難ヲ來シハセヌカト思フ、之ニ付テ御所見ガアレバ伺ヒタイ

○政府委員(杉山四五郎君) 御話ノヤウナ事ハ建議案ノトキニモアリマシタノデス、是ハ何レ大體ノ事ハ専門家ニ依テ定メテ、ソレヲ訓令等ノ形式ニ依テ各地方長官ニ示シテ、其統一ヲ期シタイト思テ居リマス

○行徳健男君 従來各府縣ニ於テ「トラホーム」ノ豫防治ト云フコトニ付テハ、大ナリ小ナリ實行サレテ居リマスガ、府縣町村ガ支出シテ居ル所ノ費用ハ今日ドノ位ニ上ツテ居リマスカ

○政府委員(杉山四五郎君) ソレニ付キマシテハ、大正元年度ヨリ五年度ニ亘リ「スル」トラホーム豫防費一覽表ナルモノヲ當局デ作ツテ置キマシタカラ、今之ヲ一讀上げル煩ヲ避ケマシテ、皆様ノ御手許ニ出スコトニ致シマス

○行徳健男君 一般公衆ニ對シテハ、大體ドウニ云フ方法ヲ以テ豫防治療ヲ圖ラレテ居ルカ、大體ノ方針ガアレバソレヲ伺ヒタイ、尙ホ壯丁ノ「トラホーム」ニ付キマシテハ從來本員等ノ經驗スル所ニ依リマスルト、各市町村長カラ、醫師會若クハ醫師個人ニ對シテ、無料若クハ出來ルダケ低額ノ治療費ヲ以テ治療ヲシテ吳レロト云フヤウナ依頼ヲ受ケテ居リマス、是ハ吾ニ當業者ニ於テハ喜ンデ居ル譯アリマスルガ、實際ニ於テハ實行ガ甚ダ困難デアリマス、偶ニ兩度ハ參リマシテモ其後トハ來ナイ、其間ニ何等ノ制裁モ出来ルヤウナ方法ハナカラウカト考ヘマスカ、此點ニ付テモ何カ御所見ガアルカ伺ヒタイ

○政府委員(杉山四五郎君) 講習ノコトハ實ハ第九回マデ出テ居リマシタガ、其後政府ノ財政ノ都合モアリマシ

タク、中絶シテ居リマシタノハ甚ダ遺憾ニ心得テ居リマス  
愈々結核豫防法ガ實施セラレル曉ニ至リマシタナラバ、是非  
トモ大正九年度カラハ之ヲ復活致シマシテ、此豫防法ノ施  
行ト云フモノノ上ニ、一層圓滑ナラシムルヤウニ致シタイト  
當局ハ考ヘテ居リマス、尙ホ其講習ノ方法等ニ付テハ、所  
謂患者其者ヲ——實際ニ治療スベキ患者ニ對シテ、單リ學  
術的ノ講義ヲスルノミナラズ實際ニ於テノ遣ロナドヲ矢張  
指示スルト云フ方法ヲ執リタイト考ヘテ、是非大正九年度  
カラ、トラホーム講習ヲ復活シ、此法律ヲ圓滑ナラシメタイ  
ト云フ考ヲ持テ居リマス、ソレカラ壯丁ノ「トラホーム」ノ治  
療ニ付テ、醫師諸君ニ御依頼ガアツテ、而モソレガ徹底的ニ  
リマスガ、是ハ幸ニ陸軍省ノ當局ガ居リマスカラ、合田軍  
醫正ヨリ御答ヲ願ヒタイ

○陸軍一二等軍醫正合田平君 唯今ノ壯丁ノ「トラホーム」  
ヲ十分ニ治療スルヤウニ何カシタイト云フコトデアリマシタ  
ガ、壯丁其者トシテハ實ハ陸軍デモ取締ガ困難デアリマス、  
此點ハ御承知ヲ願ヒタク、唯、此徵兵検査ノ際ニ、検査員  
或ハ聯除ノ司令官ガ、壯丁ニ對シテ色ニ「トラホーム」ノ害  
ヲ避ケルコト、カ、其治療ヲ完全ニシナケレバナラスト云フ  
マスカラ、法案其モノニ付テハ御尋致スコトモアリマセヌガ、  
此法案ノ趣旨ヲ徹底スルニ必要ト考ヘマスカラ、内務當局  
及文部當局ニ一點宛御尋ヲ致シマス、唯今行德君カ學校  
衛生ノコトニ付テ色ニ御質問ニナリマシタガ、「トラホーム」  
結核ハ斯ル疾病ノ治療ト云フ方面カラ見レバ、學校衛生ハ  
子供デアツ町村醫師ガ此方面ノ「トラホーム」結核等ノ豫  
防救濟ノ目的ヲ達スル上ニ付テハ、大ニ力ヲ盡サナケレバナ  
ラナイ、而シテ其基礎ヲ爲スモノハ町村ニ於クル醫師ノ普  
及デアリマス、然ルニ現在ノ狀況ニ於テハ、醫師ガ多ク都會  
ニ集中シテ地方ニ參リマスト例ヘバ青森縣ノ如キ先般私ガ  
參リマシテ話ヲ聽クト、町村ノ約三分ノ一ハ醫師ヲ缺イテ  
居ルト云フコトデアリマス、デ既ニ此法案が通過シテ實施ス  
ルコトニ至リマスレバ、先づ以テ醫師ノ居ナイ所ノ町村ニ、  
醫師ヲ普及スルト云フコトガ焦眉ノ急アアルト考ヘマスガ、  
此點ニ付テ内務當局ハ如何ナル御計畫ヲ御持チニナツテ居  
リマスカ、簡單ニ此事ヲ承リタク

○政府委員杉山四五郎君 今土屋君カラ兔角醫師カ  
都會ノ方ニ集中スルノ弊ガアル、語ヲ換ヘテ申シマスレバ町  
村ノ方ニ居ラナイヤウナ傾基ガアル、是ハ衛生ノ不備アリ  
マス、隨ヒマシテ此「トラホーム」豫防法ヲ施行スル上ニ於テ

ハ、餘程當局ニ於テハ之ニ對シテ深甚ノ注意ヲ拂フコトヲ  
要スル次第デアリマス、是ハ此度法案ハ提出致シマセヌケレバ  
ドモ、先月十七日カラ開キマシタ内務主權ノ衛生講習會三  
於キマシテ、各府縣カラ醫師關係ノ官吏ガ相當參<sup>ク</sup>テ居リ  
マスノヲ機ト致シマシテ、固ヨリ此「トラホーム」ノ豫防治療  
ノミニアリマセヌカ、一體町村ニ甚ダ醫師ガ缺乏スルト云フ  
コトハ遺憾ナル次第デアルカラ、地方長官ハ宜シク此邊ニ  
意ヲ致サレマシテ、何等カノ方法ニ依<sup>テ</sup>町村ニ醫師ノ普及  
スルコトニ考慮ヲ加ヘラレルヤウニ詰ヲ致シマシタ次第デアリ  
リマス、尙モ最モ進ンダル所ニハ町村醫ノアル處モアリマス  
ケレドモドウモ、是ハマダ割ニナンテ居ナイ、最モ進ンダル  
町村ニ於テハ、町村醫ヲ公費ヲ以て置イテアル所モゴザイマ  
ス、サウ云フ風ノ側ニ於テ進ンデ行<sup>ク</sup>タナラバ、非常ニ結構デ  
ゴザイマスカラ、幾タカサウ云フヤウナ側デ自發的ニ置クコト  
ヲ先ヅ第一考ヘテ見タイト思ヒマス、次ニハ何レ此「トラホ  
ーム」ノ豫防法ヲ施行スルニ付テハ、ドウシテモ現在ノ警察  
醫——道府縣ノ警察醫ト云フ者ノ内眼科ヲ專攻シテ居ル者  
ガアレバ、宜シウゴザイマスガ、サウ云フ者ガ無イトナラバ、  
先程監督ノ事ニ付テ行徳君カラ御話ガアリマシタガ、ドウシ  
テモ監督ノ行届クコトが必要カアリマスノデ、矢張道府縣ノ  
警察醫中、サウ云フ眼科ヲ專門ニスル者ヲ、豫算ノ許ス範  
圍内ニ於テデモ、少クモ置カセルヤウニシタイト云フ考慮ヲ  
持<sup>テ</sup>テ居リマス、大要右ニ御諒承ヲ願ヒマス  
○土屋清三郎君 次ニハ學校醫ノ普及ノ事ニ付テ——資  
格ノ事ニ付テ伺ヒタイ、文部當局ニ伺ヒタイノデアリマスガ、  
學校醫ノ資格ニ關シテハ明治三十一年二月文部省令ヲ以  
テ規定サレタ——勅令デアリマシタガ、ソレニ依リマスルト學  
校醫ト云フモノハ、第一ニ帝國大學ノ醫科ヲ卒業シタ者、  
官立若クハ公立ノ醫學校ヲ卒業シタ者テアツテ、開業試驗  
官立若クハ公立ノ醫學校ヲ卒業シタ者テアツテ、開業試驗  
様ナ規定ニナシテ居リマス、此規定ニ付テハ當時ヨリ隨分八  
釜敷イ議論ガアツテ、詰リ是ハ文部省ト云フ所ハ、元來ガ學  
閥ノ叢窟デアル爲メニ、常ニ官立或ハ公立ノ學校ノ出身者  
ヲ保護スルガ爲メニ特ニ斯<sup>ク</sup>云フ規定ヲ設ケタモノデアルト  
云フコトガ、其時カラ今尚<sup>ク</sup>隨分八釜敷イ問題ニナシテ居リ  
マス、即チ三十年前ニ大學ヲ出<sup>ク</sup>所ノ人ト、最近ニ開業試  
驗ヲ受ケタ人トノ間ノ學力ニ於テハ、先ヅ大差ナイト言<sup>ク</sup>テ  
差支ナイ、或ハ古イ程頭ガ古イカモ知レス、併ナガラ此規定  
アルカ爲メニ此官立或ハ公立ノ出身者ガ常ニ此學校醫ノ  
位地ニ座ハル、之ガ爲メニ、常ニ官立或ハ公立ノ學校ノ出身者  
ヲ保護スルガ爲メニ特ニ斯<sup>ク</sup>云フ規定ヲ設ケタモノデアルト  
スノデ、斯カル資格ガアリマス爲メニ、以前ニ大學或ハ專門

校醫ニ嘱託シテアタ所ニ、新ニ専門學校ノ出身者ガ開業致シマスルト、自分ノ方ガ學校醫ノ資格ガアルト言<sup>ク</sup>テ運動ヲ始メル、又専門學校出身者ガ學校醫ヲヤ<sup>ク</sup>テ居<sup>ク</sup>タ所ニ、大學ノ卒業生ダ其處三行<sup>ク</sup>テ開業スルレ、自分ノ方ガ此學校醫タル第一ノ資格ヲ持<sup>ク</sup>テ居ル者デアルト云フコトヲ言<sup>ク</sup>テ運動ヲ始メル、之ガ爲メニ今デモ地方ニ於テハ紛擾ノ種ニナ<sup>ッ</sup>テ居ルノデアリマス、町村醫ノ方ニ於テハ、固ヨリ左様ナ官僚的ノ學闇ノ制限ヲ設<sup>ク</sup>テ居リマセヌカラ、一面ニ於テハ町村醫トシテ立派ニ實力ノ有ル人デアツテモ、學校醫ト云フコトニナ<sup>ッ</sup>テハ、此勅令ノ規定アルガ爲メニ、ナルコトガ出來ナイ、或ハナ<sup>シ</sup>テモ排斥ヲ受ケル、斯<sup>ク</sup>云フヤウ一事ハ唯今文部當局ノ説明ニ依リマスルト、全國ノ小學校ニ於テ校醫ヲ置イテアル所ハ七十三「パーセント」デアリマス、後トノ二十七「パーSENT」ハ醫者ガ無イ、ソレデ斯カル一面ニハ學校醫ヲ嘱託スルニモ醫者ガ無イト云フ處ガアレバ、一面ニ於テ斯<sup>ク</sup>云フ制限的ノ規定ヲ設<sup>ク</sup>テ、到ル所ニ紛擾ノ種ヲ播<sup>ク</sup>テ居ルト云フコトハ、甚ダ矛盾シタ事デアルト思、レルノデアリマス、私ハ唯今内務當局ニモ申シマシタ通り、町村ニ於テスラ醫師ガ無クテ困<sup>ク</sup>テ居ルノデアリマス、此町村ノ方面ニ於テ醫師ヲ普及スルト云フコトハ「トラホーム」ニセヨ結核ニセヨ、一般傳染病ノ豫防若クハ公衆衛生上ノ施設普及ノ上ニモ必要デアルト云フコトヲ御尋致シマシタカ、同ジ意味ニ於テ學校醫ヲ普及スルガ爲メニ、文部當局ハ此學校醫ノ資格ニ關スル所ノ規定ヲ廢止若クハ改正スル所ノ御意見ガ無イカ、ドウカト云フコトヲ承リタイ

○政府委員（赤司鷹一郎君） 唯今土屋サンノ御尋ノ學校醫ノ資格ノ問題、アゴザイマスカ 御言葉ニゴザイマシタ通り、此學校醫ノ資格ハ明治三十一年ニ制定ニナリマシタモノデゴザイマシテ、當局ニ於キマシテモ目下是レノ改正ノ必要ヲ認メマシテ、此改正ニ付キマシテ外ノ規則ナド、牽聯ヲ致シマシテ調査ヲ致シテ居ルノゴザイマス、是ハマダ案ニナ<sup>ッ</sup>テ居リマセヌノデゴザイマスガ、私ダケノ希望ト致シマシテハ、土屋サンノ御意見ニ全然御同感デゴザイマシテ、總テ醫師ノ資格アル者ニハ、學校醫トナルノ資格コ<sup>ミ</sup>クヘタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、ドウカ左様御諒承ヲ願ヒタイ

○委員長（醫學博士金杉英五郎君） 小山君カラ早ク御通告ガアリマスノデ、此次ハ小山君ニ御質問ヲ願ヒマス

○小山松壽君 薫飯ヲ食ハズニオヤリニナリマスカ

○委員長（醫學博士金杉英五郎君） 御始メニナリマステ——マダ十二時ヲ打チマセヌカラ

○小山松壽君 質問ヲ致ス前ニ委員長ニ一言致シテ置

キマス、昨日委員會ヲ閉ざルニ當テ、明日ハ午後一時ヨリ開會スルト云フコトニ御宣告アリマシタ、普通ノ場合デ申セバ次ノ委員會及時間ハ追テ公報ヲ以テ通知スルト云フコトノ御宣告アレバ、私ハ此事ハ問ヒハ致サヌノデアリマスガ、一時カラ開會スルト云フ御宣告アリ、而シテ今日ハ是ニテ散會スルト云フコトノ御宣告デアリ、一時開會ト云フコトハ此委員會ノ承認ヲ得テ時間ヲ定メラレタコトニナルノデアリマス、然ルニ色ニ御都合モアダゴザイマセウガ、突然今日午前十時ヨリ開會スルコトニ、外ノ委員會ニ於テ餘リ例ノナイ、委員長トシテ速達郵便ヲ以テ端書マデ委員ニ御遣シニナル、斯様ナ事ハ各委員ガソレヽ時間ノ縛合セ上甚ダ議事ノ進行上ニ支障ヲ來スノデアリマスカラ、將來注意スペキ事ト私ハ思フノデアリマス、或ハ内務省カラ今後御出しシニナル法律等ニ付テ、再び金杉君ハ委員長ノ職ヲ御執リニナルヤウナ機會モアラウト思ヒマスガ、今後ニ於テ左様ナ事ノ無イヤウニ、委員長ハ御注意アラムコトヲ一言致シテ置キマス

○委員長(金杉英五郎君) 其事ニ付テ一寸御答致シマス、實ハ本日本會議ハ無イ積リデアリマシタガ、急ニ本會議ガアルト云フ噂ヲ聞キマシタノデ、成ベク委員會ト本會ト衝突シナイヤウニト考ヘマシタノデ、俄ニ御無理ヲ願ヒマシタ、其事ニ付テハ今日委員會ヲ開キマス時分ニ御断り申シテ皆サンノ御承認ヲ得タノデアリマス、誠ニ御注意ノ段御丁寧ニ有難ウゴザイマス、今後ハ氣ヲ著ケマス

○小山松壽君 開會ニ當テ委員長カラソレニ對シ御ノ御宣ガアント云フコトデアレバ、是レ以上ハ中止ダマセヌ——唯今申シタヤウナ次第ニアリマシテ、此委員會ノ開會後ニ於テ、各委員諸君カラ御質問ノアリマシタコトハ、私ハ詳細ニ承テ居リマセヌ、但シ隣席ノ行徳君カラ大要ハ、聽キマシタカラ重複スルコトハ成ベク避ケマス、第一ニ「トラブル」ノ法案ハ結核豫防法ニ對シマシテ一層注意ヲ要スルコトト思フノデアリマス、而モ文部大臣ノ説明ニ依レバ、其患者一千万人以上ト云フコトデアリマスト、丁度我國ノ人口ニ對シマシテ五六人ニ一人ト云フ割合ニナリマス、而モは國民教育ノ上ニ至大ノ關係ヲ有スルコト、思ヒマス、而シテ文部當局者ノ唯今ノ御答ニ依レバ、明治三十一年ニ學校醫ノ規定ヲ設ケテ今後ハ總テノ醫師ニ其資格ヲ與ヘルト云フコトノ御説明デアリマシタガ、重複スルカ知レマセヌガ、全國ニ於ケル國民教育ヲスル小學校ニ於テ、學校醫ヲ有スルモノト有セゲルモノトハ、ドウ云フ割合ニナリマスカ、以前ニ御質問ガアレバ、簡單デ宜シウゴザイマスガ、又私ノ文部當局者ヘ御尋致其御答ヲ得タイト思ヒマス、又私ノ文部當局者ヘ御尋致モは國民教育ノ質問ノ時ニ結核豫防法ノ事ト總括シテ御スノハ、大體ノ質問ノ時ニ結核豫防法ノ事ト總括シテ御

尋シマシタカラ、今ハソレダケノ事ヲ一點水レバ宜シウゴザイマス、次ハ内務當局者ニ二三御尋致シタイト思ヒマス、而モ此御尋ハ極メテ簡単デアリマス、殊ニ杉山君色々豫算關係案ノ都合上御急ギドモアラウト思ヒマスカラ、此法案ニ對スル私ハ同情の立場カラ、極メテ簡単ニ御尋致シマス○政府委員(赤司鷹一郎君)先刻行徳君ノ御尋デアリマシタカラ、アノ時ニ申上ダマシタノデナガイマスガ、小學校ニ於キマシテ——校醫ヲ置イテ居リマスル所ノ小學校數ハ一万五千三百九十三、是ハ大正五年度ノ調べデサイマス、小學校ノ全數ト比較ヲ取リマスルト云フト、全國平均百分ノ七十三設置シテ居ル、斯様ナ狀況ニナシテ居リマス○小山松壽君(内務當局者ニ御尋シマス、一ツニ纏メテ御尋シマスカラ、杉山君ニ於テモドウカ一回ニ限テ御答ヲ願ヒマス、逐條的ニ御尋シテモ宜シウゴザイマスカリ……)

○委員長(醫學博士金杉英五郎君)ドウゾ御緩ック

○小山松壽君 第一條、此法文ニ依リマスルト、違反シタル場合ニ於キマシテハ第九條ノ科料ニ處スルト云フ罰則ガ附イテ居リマス、故ニ本條ハ其解釋ヲ嚴格ニシテ置ク必要ガアルト思ヒマス、隨テ第一條「醫師「トラホーム」患者ヲ診斷シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ」云々タアリマス、此法文ノ序列ハ、思フニ結核豫防法トノ關係ヲ考慮サレタコトデアラウト思ヒマス、體裁上ハ斯ウナック方ガ宜カラウカト思ヒマスケレドモ、茲ニ一ツ素人ナガラ懸念サレルコトハ「醫師「トラホーム」患者ヲ診斷シタルトキハ」トアリマシテ、其結核豫防法ニ於テ見受クル所ノ病毒傳播ノ虞アリト認メルト云フコトノ文字ヲ挿入シテ置ク必要ガアリヤ否ヤ、何トナレバ此慢性「トラホーム」ハ其道ノ人デ中シマスルト、現今ノ醫術ニ於テ五年八年間全快セザルモノカ多イ、然ルトキニ當テハ終身其治療ヲシナケレバナライヤウナ場合モアル、故ニ眼脂ノ出ル者ノミニ制限スルト云フコトデナケレバ、一千萬人モアルヤウナ多數ノ者ニ對シテ、而モ此法文ハ罰則ガ附イテ居ルノデアルカラ、其等ノ事ニ對シテハ取扱上、即チ法ノ運用上ニ付テ種々ナル支障ヲ起シハシナイカト云フ風ニ思ハレルノデアリマス、故ニ唯今申シマシ通り、病毒傳播ノ虞アリト云フヤウナ事ヲ挿入致シテ置キマセヌデモ、差支ナキモノデアリマスカドウデアリマスカト云フ事が第一點デアリマス、ソレカラ第二條「トラホーム」患者ハ速ニ醫師ノ治療ヲ受クベシ「トラホーム」患者ノ保護者ハ其ノ患者ヲシテ速ニ醫師ノ治療ヲ受けシムベシ」ト云フ、命令事項ニナツテ居リマス、是ハ今度反對ノ方カラ申シマスト、治療ヲ受ケナイ者ガアツトキノ制裁ハドウスル、第一項第二項共ニ其場合ニハドウ云フ風ニ取扱ハレルカ、之ヲ承リマスノガ

○政府委員(杉山四五郎君) 小山君ノ御質問ニ御答申上ダマス、御尋ノ第一點ハ詰リ「病毒傳播ノ虞アル」ト云フ文字ガ、結核豫防法案ニハ有ツテ本案ニ無イハドウカ、如何ニモ御尤ナ御質問デアリマスガ、實ハ概要小山君ノ御述ノ通リデアリマシテ、結核ニ於キマシテハ初期トカ二期トカ言ヅテ俗ニ申ス三期所謂肺泡結核、危險ニシテ病毒傳播ノ危險ガアルト云フヤウナ者デナイト、中ニ是ハ法ヲ以テ制裁スルコトハドウデアラウカト云フ關係ガアリマスノデ、「トラホーム」ノ方ハ今小山君ノ御述ニナリマシタ通リデアリバシテ、是ハ行徳君ガ専門デアリマスカラ、私ガ申スヨリモ直接御隣合ヒデ居フシヤイマスルデ、詳シ事ハ同君カラ御聽キヲ願フタラ大變政府委員トシマシテハ仕合セデアリマス、中ニ此程度ヲ決メルコトガ困難デアリマス、傳播ノ虞アルト云フヤウナコトヨ此處ニ書キマシタ所ガ、中ニソレハ實際上六ヶ敷イ、ソコデ大體標準ヲ先程申シマシタガ、小山君ノ御見エニナラヌ前ニ行徳君ノ質問ニ對シテ答ヘマシタガ「トラホーム」患者ニハドウ云フ者ヲスルカト云フコトガ直グ起ツテ來ル、醫師ニ「トラホーム」患者ト認定サセルノデアリマス、故ニ醫師ニ於テ其方針デ診斷シタ結果「トラホーム」下見タ者、大體ドウ云フヤウナ程度ノ者ト云フコトニ付テハ、専門家ノ意見ヲ能ク微シマシタ上デ、訓令等ニ依テ地方長官等ニ確實ニ行クヤウニ努メル積リデアリマスガ、サウ云フヤウナ譯デレカラ第一條ノ「トラホーム」患者ハ醫師ノ治療ヲ受クベキアリマシテ、一寸傳播ノ虞アリヤ否ヤト云フ程度問題ニナリマスルト、中ニ六ヶ敷イ病症デアリマスカラ、ソレデ本法ニハ傳播ノ虞アル者ト云フ文字ヲ入レナカッタノデアリマス、ソレカラ第一條ノ「トラホーム」患者ハ醫師ノ治療ヲ受クベキ御尤ナ御質問デアリマス、兎ニ角總テノ義務ニ付テ制裁ヲ附スルノガ立法ノ技術トシテハ當ヲ未成年ト力禁治産者ノ場合ニハ保護者ニ醫師ノ治療ヲ受ケシムベキ義務ヲ負ハシテ居ル、然ルニ其制裁ガ無イハ如何ト云フコトハ誠ニ徹底的ニ受ケシメタイト云フ豫防救治ノ方ニ非常ニ重キ御置イテ居リマスノデ、制裁ハ附サナイデモ、此第二條ノ趣旨ヲ能ク國民ニ會得サセテ「トラホーム」ニ罹ツテ醫師ガ「トラホーム」患者ト診斷シテ、豫防消毒方法ノ指示ヲ受ケタラバ、直ぐ醫師ノ治療ヲ受ケルト云フコトヨリ觀念ヲ與ヘ

ル、又保護者ニ於キマシテモ、醫師ノ治療ヲ受ケシムルヤウニシタヽ、實ハ制裁ヲ俟テ後行フト云フヤウナコトヨリモ、ト、小山君ノ仰セノ通り制裁ヲ附シテ行ク方ガ宜イト心得マスガ、制裁ヲ謀セマセナシダ理由ハ、此法案ノ趣旨ヲ徹底スル方ニ重キヲ置イタノアリマス、ソレカラ第四條ノ第二號ニ付テノ解釋如何ト云フコトデアリマスか、概要ハ今御話ノ通りアリマス、試ニ申上ゲレバ、客ニ接スル業務ト云フノハ、藝妓、酌婦、娼妓及按摩、理髮業者ナド警察取締ニ屬スル所ノ業務ニ從事スル所ノ者ヲ指ス趣意デアリマス〇丸山嵯峨一郎君 別段ニ私ノ方カラ問フコトノ程モアリマセヌガ、唯、一ツ小サイ事ヲ聽イテ置キタヽ、元來此法案ハ是マテ附議サレタ三案ノ中デハ、最モ良ク出來テ居リマス、殊ニ第四條ニ於テ検診ヲ施行スル結果トシテ、非常ニ治療ヲ居ル、其他二、三是等ノ各號ニ於キマシテ十分ニ「トラホーム」ニ對スル豫防上ノ規定ガ具ニテ居ルト思フノアリマスガ、隨テ一般ニ検診ヲ施行スル結果トシテ、非常ニ治療ヲ受クベキ所ノ患者ヲ發見スルノアリマス、ソレデ此多數ノ患者ニ向テ治療ヲ施スニハ、隨分費用ガ掛ルデアラウト思ヒマスガ、他ノ病氣ト違フテ「トラホーム」ノ患者ノ治療費ト云フモノハ極ク輕微デアラウト思フ、結核ヤ其他ノ病氣デアリマスト、是ハ府縣町村ノ負擔若クハ國庫ノ負擔ガ多大ナモノデアリマセウガ、「トラホーム」ノ費用ト云フモノハ極メテ輕微ナモノト考ヘマス、其邊ハ如何デアリマセウ〇政府委員(杉山四五郎君) 御答ヲ申上ゲマスガ「トラホーム」ノ豫防費ハ、貧民患者治療費ガ一人ニ付平均一日五錢、治療日數平均三十五日、此治療費一人平均一圓七十五錢位ノモノアリマス〇齋藤紀一君 「トラホーム」豫防法ハ、我日本人ニ付テハ完全ト存ジマス、併シ日本ニ來テ居ル支那人中ニハ大分「トラホーム」ガ多イト云フコトデアリマス、加之西伯利、露西亞或ハ南洋等ノ方面カラ日本ニ來ル者ノ豫防法ハ見エマセヌ、顧ミルニ亞米利加ノ如キハ、亞米利加ニ入ル者ニハ船中ニ悉ク検査ヲシマスガ、我當局ハ總テ日本「トラホーム」ハ撲滅シタシテモ、是等ノ點ニ付テハ如何ナル方法ヲ御考デアルカ、亞米利加ノ如ク豫防方法ヲ外國人ニ對シテ實行スルコトモ攻究シテ居ラル、ヤ否ヤ、此點ヲ御尋致シマス

スレカラ亞米利加ガ上陸禁止ヲスル、又船中ニ於テ検査シ若クハ上陸ノ際検査シテ「トラホーム」ノアル者ハ上陸禁止ヲムニ定義ニハ、何等カノ式ヲ以テ訓令ヲ地方長官ニ出スト云フコトデアリマスガ、是ハ醫師其者ニ向テモソレド制裁ノ箇條ガアル譯デアリマスカラ、各道府縣ノ醫師會ニモ御出シニナルノデリマスカ  
○政府委員(杉山四五郎君) 諒承致シマシタ、相當ノ運ビヲ取ルコトニ致シマス  
○佃安之丞君 文部省ノ政府委員ニヒマス、先刻校醫ノコトニ付テ質問ガ出マシタガ、全國ニ於テ最少ナルハ新潟縣ガ「十五・二ペーセント」ト云フコトハ、今日マデ當局ガ手ヲ盡サレテモ、ソレヨリ進マヌノデアリマスガ、今少シ學校醫ノ手當ヲ増シテ、適當ナル人ヲ得ルト云フコトハ、地方ノ市町村ノ經濟ニモ關係シマスカラ困難デアリマセウガ、今少シ增額スルコトヲ地方ニ向テ督勵スル御考ハナイノデスカ、此二點ニ付テ御尋致シマス、ソレカラ學校衛生機關トシテハ、醫師ノ手ガ尠クテ困ルカラ、擴大シタイト云フ希望ハ拜承致シマシタガ、是ハ早速方法ヲ設ケテ殖ヤシテ豫防法ヲ實行スルコトガ今日ノ場合必要ト考ヘマス、又講演モ必要ト思ヒマスガ、此邊ニ付イテ進ンデヤル御考ハナイノデアリマスカ、此點ニ付テ伺ヒマス  
○政府委員(赤司鷹一郎君) 先づ第一ノ御尋ノ小學校ノ學校醫ノ問題カラ申シマス、先刻申シマシタ通り、全國ニ於テ百分ノ七十三ダケ學校醫ノ設置ガ出來テ居リマス、今御話ノ如ク全國中率ノ惡イノハ新潟縣デゴザイマス、ソレカラ率ノ良イノハ福井縣デゴザイマス、福井縣ハ全部ノ學校ニ學校醫ガ配置サレテアリマス、之ニ反シテ新潟縣ハ二十五・ペーセントト云フ勘定ニナッテ居リマス、甚ダ當局トシテハ遺憾ナ狀態デアルト考ヘテ居リマス、當局トシテハ地方長官會議ノトキニ、學校醫ノ設置ヲ獎勵ヨシテ、文部大臣ヨリ地方長官ニ此事ヲ希望シテ居ル譯デアリマスガ、尙ホ將來ハ能ク普及スルヤウニ盡力シタイト考ヘテ居リマス、尙附加ヘテ申シマスガ、小學校以上ノ程度ノ高い學校デハ、學校醫ハ全部行渡シテ居リマスヤウナ譯デアリマス、ソレカラ第三ノ御尋デゴザイマスガ、文部當局ノ現狀デ足レリ

トスルカト云フコトデアリマスガ、是ハ先刻行徳君ノ御問ノ際ニ申上ダマシタ通り、實際不足ヲ感ジテ居ルノデゴザイマス、隨て地方視察ニ參ルト云フコトモドウシテモ手薄ニナルト云フ結果ヲ來シマシテ、學校衛生上甚ダ遺憾ト考ヘマシテ、此點ニ就テモ出來ルダク十分ニ視察ノ行届クヤウニシタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ學校醫ノ手當ノコトデゴザイマスガ、是ハ先刻モ申シマシタ通り、小學校ノ校醫ノ手當ハ全國ヲ平均致シマスト、十五圓某ト云フ僅カノ額デゴザイマス、是モ甚ダ不本意ニ感ジテ居リマスノデ、今少シ手當ヲ高メテ行キタイト考ヘテ居リマス、尙ホ此問題ハ先刻モ申シマシタ學校醫ノ資格ニモ關シマスルノデ、サウ云フコトヲ一括シテ攻究シテ居リマスカラ、早晚相當ノコトハ出来ヤウト考ヘマス

○伊東重君 第四條ノ三號ニ「學校、幼稚園、製造所ノ他ノ多衆ノ集合スル場所」トアリマスガ、是ハヤハリ寺院ノ如キモノモ之ニ入ルノデゴザイマス

○政府委員(杉山四五郎君) 仰セナ通リデゴザイマス

○伊東重君 ソレカラ文部當局ニ伺ヒマスガ、此「トラホーム」ノ豫防ト云フコト、學校ノ兒童ノ掃除ト云フコトデゴザイマス、是ハ結核ノ時ニ御尋シヤウト思ヒマシタガ「トラホーム」ノ豫防トモ關係ガアリマスカラ、同ヒマスガ此「トラホーム」ハ結核ノ如ク直接ニ傳染スルモノデハアリマセヌガ「トラホーム」ノ發生、或ハ治療ノ效果ニ關シテ此事ハ密接ノ關係カラ、アラウト思ヒマス、此點ニ付テ政府委員等ノ説明ニ依ルト、相當ノ注意ヲ加ヘテヤレバ決シテ差支ナイト云フコトデアリマスガ、實際ノ狀況ヲ見ルト、何等ノ注意モ監督モナク、座埃ノ潔ミタル中ニ、漸ク生徒ノ形ガ朦朧トシカ見エナイヤウナ處テヤシテ居ル、是等ハ「トラホーム」ノ豫防上極メテ有害ト信ズルノアリマス、而シテ生徒ノ掃除ナルモノハ學校ノ方カラ言ヘバ、兒童ノ訓育ノ爲メダト云フコトデアリマスケレドモ、其實際ノ内情ヲ聞クト、實ハ小使ニヤラセルト經費ヲ増スト云フ爲ダニ、小使ノ代リノサセルト云フコトデアル、是ハ甚ダ宜シクナイコト、思テ居リマスガ、政府當局ニ於テハ若シ直チニ全廢ガ出來ナイトシテモ、例ヘバ村落ノ學校ノ如キハ、空氣モ好シ風通シモ宜ノアリマスカラ、免ニ角トシテ、都市ノ學校ニ於テハ掃除ヲ廢止スルト云フコトハ出來マセヌカ、其點ヲ伺ヒマス

○政府委員(赤司鷹一郎君) 小學校ノ掃除問題ニ就キマシテハ、非常ニ六ヶ敷イ問題デアリマス、ト申シマスノハ生徒ヲシテ勤勞ヲナサシムル習慣ヲ養フト云フ、教育上ノ問題ト、衛生問題トノ二ツニ歸著致シマスガ、此點ニ付テ適當ノ解抉ヲ與ヘルコトニ就テ、當局モ大ニ苦心ヲシテ居リマス、是モ何カ適當ノ案が出來マシタナラバ、學校衛生調査

會ノ審議ニ附スベキ事項ト考ヘテ居リマス、併シ差當リノ問題ト致シマシテハ、學校ノ掃除ト云フコトハ、一面ニ於テハ教育上良イカモ知レマセヌガ、一面ニ於テハ病毒ヲ傳播セシムル心配モアリマスノデ、ヤルニ致シマシテモ適當ナル範圍ニ於テヤル、一例ヲ申シマスレバ、掃除ヲスルニハ水デモ撒イテヤルトカ云フヤウナコトニデモスルトカ、何カノ注意ヲ加ヘタイト考ヘテ居リマス

○佃安之丞君 モウ質問打切ノ動議ヲ提出致シマス  
(「賛成々々下呼フ者アリ」)

○委員長(法學博士金杉英五郎君) ソレデハ質問ハ打切リノコトニ致シマス

○小山松壽君 採決前ニ當リマシテ、私ハ一ノ希望ヲベテ本案ニ賛成ノ意ヲ表シマス、結核豫防法ハ既ニ御決議ニナリマシタガ、續イテ「トラホーム」ノ法案ニ對シテ政府委員ノ意見モ伺ヒマシタガ、結核豫防法及ビ「トラホーム」豫防法ノ兩案ハ、社會政策上ノ見地カラ見マシテモ、最モ急ヲ要シ且シ國防上、產業上、又國民衛生ト云フ上カラ見マシテモ、此法案ノ精神ヲ徹底的ナラシムルコトニ於テ、最モ必要ナルコト、思ヒマス、但シ本案ヲ施行スル場合ニ當リマシテハ、主トシテ衛生警察ノ職務ノ管掌事務ト思ヒマスカラ、尙ホ此人權問題ニモ、自由拘束ニモ、財產處分權ニモ當ルノアリマスカラ、此法案ノ目的ヲ遂行スルニ餘り急激ナル結果トシテ、却テ障害ヲ來シ、政府委員ノ説明サレタル如ク、ペテン的ノ考ヘ等ヨリ、病毒ノ隠蔽ヲスルト云フコトノ意思ヲ助長セシメルト云フヤウナ事ガゴザイマシテハ、本法ノ施行ノ上ニ甚ダ遺憾ガ多イコト、思ヒマス、其結果トシテ法ノ目的ヲ達スル上ニ、却テ減殺ヲスルト云フヤウナ處テヤシテ居ル、是等ハ「トラホーム」ノ豫防上極メテ有害ト信ズルノアリマス、而シテ生徒ノ掃除ナルモノハ學校ノ方カラ言ヘバ、兒童ノ訓育ノ爲メダト云フコトデアリマスガ、實際ノ狀況ヲ見ルト、何等ノ注意モ監督モナク、座埃ノ潔ミタル中ニ、漸ク生徒ノ形ガ朦朧トシカ見エナイヤウナ處テヤシテ居ル、是等ハ「トラホーム」ノ豫防上極メテ有害ト信ズルノアリマス、而シテ生徒ノ掃除ナルモノハ學校ノ方カラ言ヘバ、兒童ノ訓育ノ爲メダト云フコトデアリマスケレドモ、其實際ノ内情ヲ聞クト、實ハ小使ニヤラセルト經費ヲ増スト云フ爲ダニ、小使ノ代リノサセルト云フコトデアル、是ハ甚ダ宜シクナイコト、思テ居リマスガ、政府當局ニ於テハ若シ直チニ全廢ガ出來ナイトシテモ、例ヘバ村落ノ學校ノ如キハ、空氣モ好シ風通シモ宜ノアリマスカラ、免ニ角トシテ、都市ノ學校ニ於テハ掃除ヲ廢止スルト云フコトハ出來マセヌカ、其點ヲ伺ヒマス

○政府委員(杉山四五郎君) 仰セナ通リデゴザイマス

○伊東重君 ソレカラ文部當局ニ伺ヒマスガ、此「トラホーム」ノ豫防トモ關係ガアリマスカラ、同ヒマスガ此「トラホーム」ハ結核ノ如ク直接ニ傳染スルモノデハアリマセヌガ「トラホーム」ノ發生、或ハ治療ノ效果ニ關シテ此事ハ密接ノ關係カラ、アラウト思ヒマス、此點ニ付テ政府委員等ノ説明ニ依ルト、相當ノ注意ヲ加ヘテヤレバ決シテ差支ナイト云フコトデアリマスガ、實際ノ狀況ヲ見ルト、何等ノ注意モ監督モナク、座埃ノ潔ミタル中ニ、漸ク生徒ノ形ガ朦朧トシカ見エナイヤウナ處テヤシテ居ル、是等ハ「トラホーム」ノ豫防上極メテ有害ト信ズルノアリマス、而シテ生徒ノ掃除ナルモノハ學校ノ方カラ言ヘバ、兒童ノ訓育ノ爲メダト云フコトデアリマスケレドモ、其實際ノ内情ヲ聞クト、實ハ小使ニヤラセルト經費ヲ増スト云フ爲ダニ、小使ノ代リノサセルト云フコトデアル、是ハ甚ダ宜シクナイコト、思テ居リマスガ、政府當局ニ於テハ若シ直チニ全廢ガ出來ナイトシテモ、例ヘバ村落ノ學校ノ如キハ、空氣モ好シ風通シモ宜ノアリマスカラ、免ニ角トシテ、都市ノ學校ニ於テハ掃除ヲ廢止スルト云フコトハ出來マセヌカ、其點ヲ伺ヒマス

○政府委員(赤司鷹一郎君) 小學校ノ掃除問題ニ就キマシテハ、非常ニ六ヶ敷イ問題デアリマス、ト申シマスノハ生徒ヲシテ勤勞ヲナサシムル習慣ヲ養フト云フ、教育上ノ問題ト、衛生問題トノ二ツニ歸著致シマスガ、此點ニ付テ適當ノ解抉ヲ與ヘルコトニ就テ、當局モ大ニ苦心ヲシテ居リマス、是モ何カ適當ノ案が出來マシタナラバ、學校衛生調査

會ノ審議ニ附スベキ事項ト考ヘテ居リマス、併シ差當リノ問題ト致シマシテハ、學校ノ掃除ト云フコトハ、一面ニ於テハ教育上良イカモ知レマセヌガ、一面ニ於テハ病毒ヲ傳播セシムル心配モアリマスノデ、ヤルニ致シマシテモ適當ナル範圍ニ於テヤル、一例ヲ申シマスレバ、掃除ヲスルニハ水デモ撒イテヤルトカ云フヤウナコトニデモスルトカ、何カノ注意ヲ加ヘタイト考ヘテ居リマス

○佃安之丞君 モウ質問打切ノ動議ヲ提出致シマス  
(「賛成々々下呼フ者アリ」)

○委員長(法學博士金杉英五郎君) ソレデハ質問ハ打切リノコトニ致シマス

○小山松壽君 採決前ニ當リマシテ、私ハ一ノ希望ヲベテ本案ニ賛成ノ意ヲ表シマス、結核豫防法ハ既ニ御決議ニナリマシタガ、續イテ「トラホーム」ノ法案ニ對シテ政府委員ノ意見モ伺ヒマシタガ、結核豫防法及ビ「トラホーム」豫防法ノ兩案ハ、社會政策上ノ見地カラ見マシテモ、最モ急ヲ要シ且シ國防上、產業上、又國民衛生ト云フ上カラ見マシテモ、此法案ノ精神ヲ徹底的ナラシムルコトニ於テ、最モ必要ナルコト、思ヒマス、但シ本案ヲ施行スル場合ニ當リマシテハ、主トシテ衛生警察ノ職務ノ管掌事務ト思ヒマスカラ、尙ホ此人權問題ニモ、自由拘束ニモ、財產處分權ニモ當ルノアリマスカラ、此法案ノ目的ヲ遂行スルニ餘り急激ナル結果トシテ、却テ障害ヲ來シ、政府委員ノ説明サレタル如ク、ペテン的ノ考ヘ等ヨリ、病毒ノ隠蔽ヲスルト云フコトノ意思ヲ助長セシメルト云フヤウナ事ガゴザイマシテハ、本法ノ施行ノ上ニ甚ダ遺憾ガ多イコト、思ヒマス、其結果トシテ法ノ目的ヲ達スル上ニ、却テ減殺ヲスルト云フヤウナ處テヤシテ居ル、是等ハ「トラホーム」ノ豫防上極メテ有害ト信ズルノアリマス、而シテ生徒ノ掃除ナルモノハ學校ノ方カラ言ヘバ、兒童ノ訓育ノ爲メダト云フコトデアリマスケレドモ、其實際ノ内情ヲ聞クト、實ハ小使ニヤラセルト經費ヲ増スト云フ爲ダニ、小使ノ代リノサセルト云フコトデアル、是ハ甚ダ宜シクナイコト、思テ居リマスガ、政府當局ニ於テハ若シ直チニ全廢ガ出來ナイトシテモ、例ヘバ村落ノ學校ノ如キハ、空氣モ好シ風通シモ宜ノアリマスカラ、免ニ角トシテ、都市ノ學校ニ於テハ掃除ヲ廢止スルト云フコトハ出來マセヌカ、其點ヲ伺ヒマス

○政府委員(杉山四五郎君) 小山君カラ此「トラホーム」豫防法ノ實施ニ付テハ、能ク法ノ趣旨ニ鑑ミテ衛生警察ノ施行上、所謂寛嚴宜シキカ得ルヤウニ、其宜シキヲ若シ誤etzカラ、尙ホ此人權問題ニモ、自由拘束ニモ、財產處分權ニモ當ルノアリマスカラ、此法案ノ目的ヲ遂行スルニ餘り急激ナル結果トシテ、却テ障害ヲ來シ、政府委員ノ説明サレタル如ク、ペテン的ノ考ヘ等ヨリ、病毒ノ隠蔽ヲスルト云フコトノ意思ヲ助長セシメルト云フヤウナ事ガゴザイマシテハ、本法ノ施行ノ上ニ甚ダ遺憾ガ多イコト、思ヒマス、其結果トシテ法ノ目的ヲ達スル上ニ、却テ減殺ヲスルト云フヤウナ處テヤシテ居ル、是等ハ「トラホーム」ノ豫防上極メテ有害ト信ズルノアリマス、而シテ生徒ノ掃除ナルモノハ學校ノ方カラ言ヘバ、兒童ノ訓育ノ爲メダト云フコトデアリマスケレドモ、其實際ノ内情ヲ聞クト、實ハ小使ニヤラセルト經費ヲ増スト云フ爲ダニ、小使ノ代リノサセルト云フコトデアル、是ハ甚ダ宜シクナイコト、思テ居リマスガ、政府當局ニ於テハ若シ直チニ全廢ガ出來ナイトシテモ、例ヘバ村落ノ學校ノ如キハ、空氣モ好シ風通シモ宜ノアリマスカラ、免ニ角トシテ、都市ノ學校ニ於テハ掃除ヲ廢止スルト云フコトハ出來マセヌカ、其點ヲ伺ヒマス

○政府委員(赤司鷹一郎君) 小山君カラ此「トラホーム」豫防法ノ實施ニ付テハ、能ク法ノ趣旨ニ鑑ミテ衛生警察ノ施行上、所謂寛嚴宜シキカ得ルヤウニ、其宜シキヲ若シ誤etzカラ、尙ホ此人權問題ニモ、自由拘束ニモ、財產處分權ニモ當ルノアリマスカラ、此法案ノ目的ヲ遂行スルニ餘り急激ナル結果トシテ、却テ障害ヲ來シ、政府委員ノ説明サレタル如ク、ペテン的ノ考ヘ等ヨリ、病毒ノ隠蔽ヲスルト云フコトノ意思ヲ助長セシメルト云フヤウナ事ガゴザイマシテハ、本法ノ施行ノ上ニ甚ダ遺憾ガ多イコト、思ヒマス、其結果トシテ法ノ目的ヲ達スル上ニ、却テ減殺ヲスルト云フヤウナ處テヤシテ居ル、是等ハ「トラホーム」ノ豫防上極メテ有害ト信ズルノアリマス、而シテ生徒ノ掃除ナルモノハ學校ノ方カラ言ヘバ、兒童ノ訓育ノ爲メダト云フコトデアリマスケレドモ、其實際ノ内情ヲ聞クト、實ハ小使ニヤラセルト經費ヲ増スト云フ爲ダニ、小使ノ代リノサセルト云フコトデアル、是ハ甚ダ宜シクナイコト、思テ居リマスガ、政府當局ニ於テハ若シ直チニ全廢ガ出來ナイトシテモ、例ヘバ村落ノ學校ノ如キハ、空氣モ好シ風通シモ宜ノアリマスカラ、免ニ角トシテ、都市ノ學校ニ於テハ掃除ヲ廢止スルト云フコトハ出來マセヌカ、其點ヲ伺ヒマス

○土屋清三郎君 私モ唯今小山君ノ原案ニ全然賛成ト云フ御意見ニ賛成同意ヲ致シマス尙ホ私モ此機會ニ希望ヲ申述ベテ置キタイトノハ、先程質問ノトキニモ申上げマシテ居ルヤウニアリマス、一面貴族院ニ於テハ豫算關係ノ案ニ此場合ニ於テ言明シテ賛成ノ意ヲ表シテ置キマス

○土屋清三郎君 私モ唯今小山君ノ原案ニ全然賛成ト云フ御意見ニ賛成同意ヲ致シマス尙ホ私モ此機會ニ希望ヲ申述ベテ置キタイトノハ、先程質問ノトキニモ申上げマシテ居ルヤウニアリマス、一面貴族院ニ於テハ豫算關係ノ案ニ此場合ニ於テ言明シテ賛成ノ意ヲ表シテ置キマス

○貴族院ニ送シテ貴族院ノ豫算ノ審議ノ期間モ正ニ切迫シ日決定シテ結核豫防法案並ニ今日正ニ決定シャウトスルベテ置キタイト思ヒマス、將來ノ爲メニ一言シテ置キタイト思ヒマス、過日此處デ決議ヲシマシタ所ノ精神病法、又昨日決定シテ結核豫防法案並ニ今日正ニ決定シャウトスルベテ置キタイト思ヒマス、斯ウ云フ案ハ早ク提出ヲ望ムト云フヤウナリヨリモ寧口學校ニ入ル前ニ、早ク既ニ家庭ニ於テ感染ズル事が多イノアリマス、殊ニ貧民部落ニ於テソレガ著ノ

ダコトニ付テハ、相當御苦心ノ結果萬止ムヲ得ズ後レタモノトハ思ヒマスケレドモ、斯ウニフ豫算ニ關係スル案ハ、將來斯ノ如キ跋ニ御提出ノナイコトニシテ、豫算ヲ決定スル前ニ、豫メ御提出ノ御運ビアランコトヲ將來ノ爲メニ一言希望ヲ申述べマシテ、全然原案ノ通過ヲ希望致シマス、採決アランコトヲ希望致シマス

○委員長（醫學博士金杉英五郎君） ソレデハ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」全會一致ト呼フ者アリ〕

○委員長（醫學博士金杉英五郎君） ソレデハ滿場一致

デ

○小山松壽君 唯今本員ヨリ述ベマシタ希望ハ、本會ニ御報告ノ場合ニ其趣旨ヲ徹底スルヤウニシテ置クコトニ御注意アランコトヲ更ニ望ンデ置キマス

○土屋清三郎君 私モ同ジヤウニ希望致シマス  
○委員長（醫學博士金杉英五郎君） ソレデハ本案ハ可決確定シタルコトヲ宣告致シ、兼テ小山君、土屋君其他ノ方ニヨリノ御希望ハ、本會議ニ陳述致シマスルコトニ致シマス、御忙シイ所ヲ誠ニドウモ長イ間御苦勞様デゴザイマシタ、御禮ヲ申上ダマス

午後零時五十二分散會